第1次協働のまちづくり推進計画における成果

第1次計画における取組状況等の評価については、第2次計画の策定に取り組むため、令和元年度から令和4年度までの結果を取りまとめ、第2次計画骨子案の審議の際に総括し、ご意見をいただいたところです。

改めて、令和5年度の評価結果も踏まえた第1次計画の成果としては、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している時期にはその影響により事業の進捗が鈍化している事業が散見されたものの、計画期間全体では概ね事業の推進を図ることができました。

○令和5年度評価結果を踏まえた主な取組の成果

(1) まちづくり活動に関心がある市民の割合

第1次計画策定以降、地域社会は長きにわたり新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動の停滞等を余儀なくされましたが、その間も必要な取組を推進したことにより、平成29年度に62.5%であったまちづくり活動に関心がある市民の割合は、令和4年度には71.5%と、令和5年度目標値(70.0%)を上回り、まちづくり活動に対する市民の意識を高めることが出来ました。

(2) 地域まちづくり協議会の設立

各地区において、コミュニティ意識の希薄化や地域活動へ参加する機会が減少し、地域の絆が衰退しつつある状況にあっても、令和4年度に長浦地区において、幅広い団体の参加のもと、市内初の地域まちづくり協議会が設立され、活力ある地域づくりに向けた取組を進めています。

(3) 協働による事業の実施

市民と行政との協働のまちづくりを推進するため、各課等では様々な取組を進めており、平成29年度では117事業であった協働による事業が、令和5年度では124事業と増加し、令和5年度目標値(140事業)は下回ったものの、様々な分野での協定の締結やイベントの共催などが積極的に行われました。

参考 第2次計画策定の際の第1次計画における成果（骨子案抜粋）

成果指標に関して、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、第1次計画に登載した取組を概ね推進できた効果により、「まちづくり活動に関心がある市民の割合」が上昇し、まちづくり活動に対する市民の意識が高まったことがうかがえます。また、長浦地区において、コミュニティ意識の希薄化や地域活動へ参加する機会が減少している状況にあり地域の絆が衰退しつつあることから、幅広い団体の参加のもと、活力ある地域づくりに向けた取組を進めるため、まちづくり協議会が設立されました。

《第1次計画（実行計画）における各年度の総合評価の結果》

評価区分	R1年度 総合評価	R2年度 総合評価	R3年度 総合評価	R4年度 総合評価	R5年度 総合評価
A	41事業	24事業	25事業	31事業	27事業
(A)	—	—	(0事業)	(0事業)	—
B	23事業	32事業	34事業	33事業	36事業
(B)	—	—	(24事業)	(18事業)	—
C	4事業	13事業	9事業	5事業	6事業
(C)	—	—	(8事業)	(2事業)	—
D	2事業	1事業	3事業	2事業	2事業
(D)	—	—	(2事業)	—	—
評価なし	1事業	1事業	—	—	—

() は各事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響があったもの